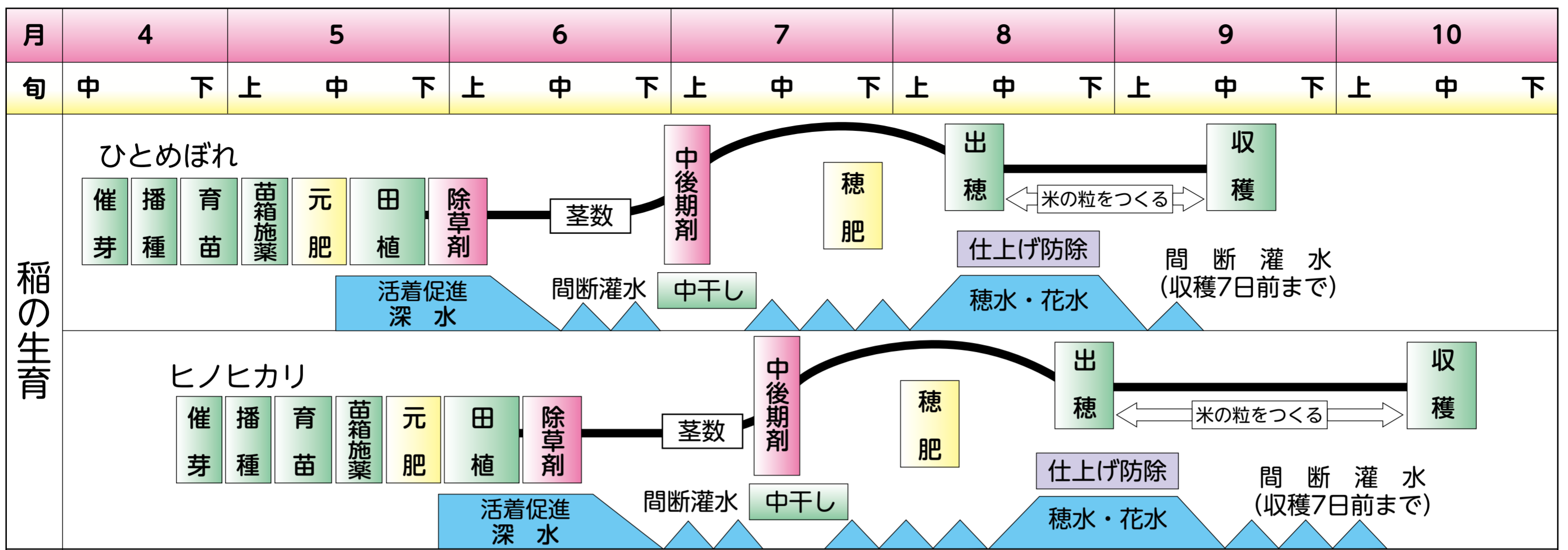


令和3年度 水稻栽培暦 (由布)



栽培のポイント

播種
 塩水選：うるち比重 1.13(塩:4.0kg/水:20ℓ)
 種子消毒は必ず実施する
 播種：薄播き(150g(催芽籾)/箱)

種子消毒
 ●薬剤での消毒(24時間浸漬)
 テクリードCフロアブル(水20ℓに100ml)
 ※もみ枯細菌、苗立枯、ばか苗、いもち
 +スミチオン乳剤(水20ℓに20ml)
 ※シンガレセンチュウ

苗箱施薬 (50g/箱)
 ●防人箱粒剤
 ※播種時(覆土前)～移植当日
 ※ウンカ類(長期残効)
 いもち病等に効果あり

田植
 45～50株/坪
 一株の苗本数は3～4本
 株間22～25cmが目安

中干し
 ひとめぼれは7月上旬
 ヒノヒカリは7月中旬
 茎数が1株20本程度確保できたら田面にヒビが入る程度に干す(ヒビの幅:約1cm)

出穂
 赤丸部分の穂が「出穂」状態
 ほ場の半分がこの状態なら「出穂期」

収穫
 青籾が2割以下
 落水は収穫7日前

施肥

※一発肥料

※施肥は、出来るだけ田植日近くに行う

苦土入りエムコート477 (90日) ※早生用 ひとめぼれ: 40kg/10a
 苦土入りエムコート477 (100日) ※中生用 ヒノヒカリ: 50kg/10a
 N14-P17-K17-Mg3

※一発肥料は追肥しません

※分施

元肥
 化成肥料10-16-16
 ひとめぼれ: 30kg/10a、ヒノヒカリ: 40kg/10a
 化成肥料12-18-14
 ひとめぼれ: 25kg/10a、ヒノヒカリ: 35kg/10a

穂肥
 ※出穂の20日前
 化成肥料16-0-16
 20kg/10a

改良資材名	散布量(10aあたり)	特徴
みのりS	500kg	牛糞主原料の堆肥
ケイカル	200kg	ケイ酸・苦土
ミネラルG	200kg	ケイ酸・苦土・鉄分
とれ太郎	60kg	ケイ酸・苦土・リン酸
土改王	45～90kg	ケイ酸・苦土・リン酸・カリ

除草剤

初期剤 (使用時期に注意! 散布後7日間は落水禁止)

- デルカット乳剤 ※植代時(移植4日前まで)
- ベクサーフロアブル ※移植前7日または移植後～ノビエ発生始期
- メテオフロアブル ※植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期

初中期一発剤 薬剤抵抗性雑草の発生を防ぐため、できるだけ前年と異なる薬剤を選択しましょう。

- サラブレットKAI (1キロ粒剤・ジャンボ剤・フロアブル) ※移植直後～ノビエ2.5葉期(1キロ剤・フロアブルは田植え同時処理可)
- キマリテ (1キロ粒剤・ジャンボ剤・フロアブル) ※移植直後～ノビエ3葉期(1キロ剤・フロアブルは田植え同時処理可)

中後期剤

- イネ科雑草
 - クリンチャー1キロ粒剤 ※移植後7日～ノビエ4葉期(但し収穫30日前まで) ※湛水散布
 - クリンチャーEW(茎葉処理) ※移植後20日～ノビエ6葉期(但し収穫30日前まで) ※湛水または落水して散布
- 広葉雑草
 - バサグラン粒剤 ※移植後15～55日(但し収穫60日前まで) ※落水またはごく浅く湛水して散布
- イネ科・広葉雑草
 - セカンドショットSジャンボMX ※移植後14日～ノビエ3葉期(但し収穫45日前まで) ※水深5～6cmに湛水してから散布

移植後の除草剤散布のポイント

7日間は水を出し入れしない! 間断灌水

2～3日田面が出てても除草効果に影響なし

自然な減水

病害虫防除

いもち病防除

●コラトップ粒剤5 (3～4kg/10a)
 ※葉いもち: 初発10日前～初発時
 ※穂いもち: 出穂30日前～5日前まで

ジャンボタニシ対策

●スクミノン(1～4kg/10a)
 ※移植後被害発生前(収穫60日前まで)

仕上げ防除

●ブレードスタークルゾル (1,000倍希釈 水60～150ℓ/10a)
 ※いもち病、カメムシ・ウンカ類
 ツマグロヨコバイに効果
 ※収穫7日前まで

稲こうじ病防除

●Zボルドー粉剤DL(3～4kg/10a)
 ※出穂10日前まで
 ※薬害を生じやすいので使用時期に注意してください

【作業日誌】

項目	実施日	使用肥料・農薬・量など
種子消毒	月 日	
播種	月 日	
苗箱施薬	月 日	
土改材	月 日	
元肥	月 日	
田植え	月 日	
除草剤	月 日	
穂肥	月 日	
防除	月 日	
収穫	月 日	